

2011年度 トップセミナー -川口- 開催

8月25日(木) JR川口駅東口キュポ・ラ本館4階フレンジアにてトップセミナーを開催しました。今回は、経営品質総合研究所の堀治人代表により「いい会社をつくりましょう」と題して経営品質向上プログラムとその手法をわかりやすく解説していただいた後、2010年度日本経営品質賞経営革新推進賞を受賞された株式会社ねぎしフードサービス/代表取締役 根岸榮治氏に「100年企業への人財共育と風土づくり」をテーマに講演していただきました。根岸社長のパワフルな講演で参加全員が元気づけられました。

5つの特徴と「ねぎしの富士山」

「牛たん、とろろ、麦めし ねぎし」は、江戸時代には「とろろと麦めし」は一緒に食べるものと日本古来から伝承されてきた事を受け継ぐことにより、「日本のとろろ文化」に貢献すると共に、日本の食料自給率向上にも貢献することを目指しています。この考え方は、イタリアの古いことわざに『石職人に「貴方は何のために働いているのか？」との質問に対して「私は家族を養うために働いている」と回答する者よりも、「大聖堂を作るために働いている」と回答する者の方が、仕事の仕方もやる気も異なり仕事への思いが強くなる。』を参考にしています。

以上の基本理念から導かれ、我が社の特徴であり強みは、「事実前提」から「価値前提」を基調とした「ビューティフルカンパニー実現のための経営」から実現した以下の5つの特徴に集約できます。

1、商品の品揃えについては牛たんを「白たん」「赤たん」「厚切り」「うす切り」の4種に分け提供しています。具体的には1枚の牛たんを肉質により2分類し、肉質の柔らかいたん元側の部位を「白たん」とし、堅いたん先側の部位を「赤たん」とし、それぞれの肉に合わせた調理法を選択しお客様へ提供しています。尚、「白たん」と「赤たん」は、商標登録済みです。

「厚切り」は、「白たん」で最も柔らかいたん元側の部位を使って商品名“しろ4”と“たんとろ”として提供しています。



講師：株式会社ねぎしフードサービス
代表取締役 根岸 榮治 氏

「うす切り」は、「白たん」にあたる部位を商品名“うすぎりねぎし”とし、「赤たん」にあたる部位を商品名“がんこちゃん”として、お客様のお口に合うように食べやすく調理して提供しています。

また、お客様に末永く親しんで頂くという思いを込め、定番商品を「SMAP」と名づけています。初めはグループとして活躍し、今ではメンバーが個々にも活躍しているのに倣って、「定番商品群がねぎしの商品のひとつとしても個性を發揮できるように」という狙いです。

CONTENTS

- トップセミナー 川口
- 今から間に合うイベントの紹介
- 2010年度埼玉県経営品質賞受賞企業報告

- SQA 通信
 - 平成23年4月からスタートした新体制のご紹介
 - 代表幹事挨拶
 - 運営委員長挨拶

2、お客様のニーズに応える商品として「レジヤ性」を重視した1,500円以上の商品群や「日常性」を重視した1,000円以下の商品群を備えています。

3、全商品に我が国の自給率向上の使命を実現するために国内の特定農家から取り寄せた「とろろ」を付けています。

4、上記と同様に我が国の自給率向上の使命を実現するために国内の特定農家から取り寄せた「麦めし」をおかわり自由に行っています。

5、競合との差別化で最も重視しているのが、「セントラルキッチンで、すべて手切り、手振り塩」にて1日4万枚の牛たんを加工していることです。

株式会社ねぎしフードサービスが目指す理想的な姿(=「ねぎしの富士山」)に対して、理念を共有した働く仲間、計画(Plan) 実行(Do) 評価(Check) 改善・学習(Action)の仕組みで実現を目指しています。その「重要成功要因」は以下の4つです。

経営理念の共有

- ① 朝礼
- ② 今日の一言
- ③ 私と経営理念
- ④ 自由闊達な風土

独自性のある商品と絞り込み

- ① 厚切り
- ② 薄切り
- ③ 白たん
- ④ 赤たん
- ⑤ SMA Pの品揃え
- ⑥ 5大商品

新宿より30分前後のドミナント出店

- ① マインドシェア NO.1
- ② 働く仲間が集合しやすい
- ③ デリバリーの効果

人財共育

- ① PDCA (Plan, Do, Check, Action)

そして、4つの重要成功要因(戦略)をより精巧に導くための取り組みを以下に示します。

- 全体会議
- 経営指針書策定
- 店長SOP J (サポートオフィスプロジェクト)
- 店長P/L会議
- 店舗力ボード
- NAC (ねぎしセルフアセスメントチェックシート)
- 各アンケート
- エリアミーティング

最後に担当の相良取締役より運営上の課題と成果(顧客満足度、ESアンケート結果)が好転しているとのお話がありました。

※講演と資料の一部を要約して、掲載しています。

事務局より

今から間に合うイベントのご案内

協議会では、会員のみなさまの人材育成に寄与すべく、さまざまな研修事業を行っております。今後の主な予定は下記の通りです。お申込み・お問合せは、事務局にお問合せいただくか、ホームページ(<http://www.sqa-net.jp/>)をご覧ください。※記載内容は予定ですので、変更になる場合があります。

平成23年

■11月15日(火) 13:30~15:30

セミナー:「経営品質入門コース第2回」
会場:さいたま商工会議所業務本部会議室
(大宮ソニックシティ8階)

内容:「沖縄教育出版」のビデオを視聴し、参加者間で気づいた点を話し合い、気づきを得ます。受講料無料。どなたでも参加できます。

■11月~12月

講演会「トップの集い」
会場、内容:検討中

平成24年

■1月10日(火) 13:30~15:30

セミナー:「経営品質入門コース第3回」
会場:さいたま商工会議所業務本部会議室
(大宮ソニックシティ8階)

内容:「ネットヨタ南国」のビデオを視聴し、参加者間で気づいた点を話し合い、気づきを得ます。受講料無料。どなたでも参加できます。

■1月12日(木)、24日(火)、2月8日(水)

13:30~16:30

セミナー:「Dr. テラの事例で学ぶ経営品質[万協製薬さんのレポートを題材に]」

会場:大宮ソニックシティ会議室

内容:中小企業の経営品質レポートを題材に、経営品質アセスメント基準を深く読み解きます。

■1月

セミナー:「トップセミナー」

会場:春日部市内

内容:経営品質で成果を創出している企業による講演会です。経営者および幹部向け。

優秀賞：賛光精機株式会社（本庄市）
 推進賞：長島製粉株式会社（鴻巣市）

奨励賞：株式会社テルミ（さいたま市）



2010年度埼玉県経営品質賞優秀賞
 賛光精機株式会社

創立 1964年
 資本金 8800万円
 従業員数 55名
 代表取締役社長 清水崇司（受賞当時）

同社は埼玉県本庄市児玉町に本社・本社工場、蕨市に蕨工場、関連会社としてモンゴル・ウランバートルに工場があります。

同社の主要なお客様は空気圧機器、半導体製造装置、光学機器製造装置メーカーです。

そのような高品質（高難度・高精度）を必要としているお客様に対して、独自技術であるヘール加工のアルミ加工部品を提供することで、顧客の信頼にこたえ、従業員はじめ社会に対して良い会社づくりを目指しています。

ヘール加工技術は切削のみでは考えられない0.3Rzの加工面粗に成功し手仕上のいらぬ加工を確立し、精密部品の機械加工から組み立てまで、1日24時間、年365日稼働体制をしき高品質、短納期、低コストの魅力ある製品をお客様に提供することで存在感のある会社として実績をあげています。モンゴル工場を2005年に創業し、技術交流や人材育成を通じて開発型国際貢献として先進的に取り組んでいます。

同社の目指す理想の姿は「いい会社いつまでもいつまでも」であり、長期的持続的成功を成し遂げることだとしています。そのためには社会に迷惑をかけることなく、顧客から選ばれ続ける会社及びそこで働く人材づくりとされています。

同社は2008年のリーマンショックは良い勉強のチャンスととらえ経営品質向上のため、人材育成に積極的に取り組み、全従業員が経営者と同じ目線で仕事に取り組めるような礼を重んじた人づくり、透明性が高く規律のある自由闊達な組織づくりに取り組んで効果を上げています。



2010年度埼玉県経営品質賞奨励賞
 株式会社テルミ

創立 1987年
 資本金 1億円
 従業員数 57名
 代表取締役 高田龍美

同社は、さいたま市、戸田市で不動産管理業を中核に、建設業、不動産仲介業の3つの分野を一本化した「ワンストップサービス」が提供できる「財産管理業」を進めています。

経営ビジョンとして「さいたま市、戸田市で一番愛される会社」を掲げて経営品質向上活動を展開し経営革新に取り組んでいます。

財産価値を高めるということは長期空室をなくすことであり、そのために、オーナーへのリフォームや改築を含め不動産全般にわたる提案力の強化、空室に対する仲介営業力の強化が重要成功要因となり効果を上げています。



浦和 / さいたま商工会議所会館 2階ホール

2010年度埼玉県経営品質協議会推進賞には、鴻巣市の長島製粉株式会社が入賞しています。（ご都合により、表彰式・報告会は欠席されました。）同社は、創立が1870年という歴史のある企業で、そば製粉・販売を行っています。

齊之平代表幹事 挨拶 (三州製菓株式会社 代表取締役)

このたびの協議会会報誌発行にあたり、ご挨拶を申し上げます。

会員のみなさま、ならびに行政、各団体のみなさまにおかれましては、日頃、協議会の事業運営に際しまして、特段のご支援、ご協力をいただいておりますこと、厚く御礼申し上げます。

さて、ここで昨年度を振り返りますと、ひとつめの柱である「経営品質向上プログラムの普及推進事業」として、「アセスメント基準解説セミナー」および月例の「経営品質ワークショップ」を中心に、経営幹部の方から経営品質を初めて学ぶ方まで、幅広いターゲットを対象に事業を展開してまいりました。

また、ふたつめの柱である「埼玉県経営品質賞への挑戦支援事業」として、経営の革新度、成熟度が著しく顕著な企業・組織に贈られる「優秀賞」に、賛光精機株式会社様が、そして経営革新度が他社の模範となる企業・組織に贈られる「奨励賞」には株式会社テルミ様がそれぞれ受賞されました。さらに、経営品質の向上に積極的に取り組まれた企業・組織に贈られる「推進賞」も1社が表彰されたところです。これも当協議会の事業活動が着実に身を結

び、県内企業の皆様にとっても大変意義あるものとして認知されてきているものと存じます。

ところで、今日の経済を振り返りますと、円高、グローバル化の進展、省エネの要請など、外部環境の変化が一層増しております。その中で活動する一企業として、改めて「いい会社とは何か」、「自社がどうあるべきか」を再確認するきっかけのひとつとして、経営品質の重要性が増していると考えます。

「顧客本位」、「社員重視」、「独自能力」、「社会との調和」という経営品質の基本理念に立ち返り、自社にとっての経営品質とは何か、実践できているのかを、厳しい環境の今こそ、見つめなおす必要があると思います。

これは協議会活動についても同様であるはずで、すなわち当協議会におきましても、経営品質協議会ならではの独自性ある、かつ会員のみなさまにとって魅力ある事業を展開していき、行政をはじめとする関係諸団体に評価していただく団体で在り続けることが重要です。その姿を目指し、活動をしてまいります。

誕生から8年目を迎えた23年度も当協議会へのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新井運営委員長 挨拶 (武州ガス株式会社 取締役 保安部長)

平成23年度は役員の改選時期であり、設立当初から永年運営推進にご尽力をいただきました運営委員長の矢内さん、副委員長の山崎さん並びに青木さんが交代されました。そして代わりに不肖新井が運営委員長に、清水洋さんが審査・育成部会担当、小口さんが広報・交流部会担当の副運営委員長に就任し、心身とも一新して運営に当たることになりました。宜しく願い申し上げます。

運営委員会の体制については、委員が相互に協力し活動に責任を持たせるために4部会制から審査・育成部会と広報・交流部会の2部会制に改編し、各部会を中心に議論を重ね、運営委員会で最終決定し実行する体制を確立することとしました。

当協議会は埼玉県内の中小企業が経営品質向上

プログラムを通じ、真に競争力のある経営体質を構築すること、企業の発展に寄与することを目的としています。目的達成のためには、収支の健全化が急務であり、埼玉県の補助金頼りから脱して会員の増加と各事業への参加者の増加を図ることが求められています。そのために、事業の目的に合った内容、企業や参加者に役立つ価値提供を続けます。

今年度の事業計画では、従来のトップセミナー・トップの集い・入門コース・ワークショップ等々に加え、新たな企画として「1. 県内の優れた企業のベンチマーキング研修」、「2. 運営委員による会員企業の巡回訪問」を追加します。これにより経営品質向上プログラムの普及促進を図り、協議会の目的実現に向かいます。

また、JQA・千葉県・栃木県・茨城県の近隣協議会と連携を取り、当協議会全体の活性化も正副代表幹事と協議しながら進め、本来の目的、あるべき姿に向かって邁進します。

編集後記

前号より暫く時間が経過しての発行となりました。その間、2010年度埼玉県経営品質受賞企業が決定し、年度が変わり新たなプログラムもスタートしています。今号ではその隙間を埋めるべく、主なイベントの概略紹介に留め、それを会員の皆様にいち早くお知らせするよう少頁編成とさせていただきました。次号からは活動報告と共に、「だからこそ今、経営品質だ!」といった気づきになる内容となるよう努力する所存です。また、各種イベントで経営品質の輪が今以上に広がるよう、皆様の積極的参加をお願いします。

(運営委員会/広報・交流部会)